

## そうだ、茶室に行こう！～初心の手引き～



「お茶会」ってなんとなく敷居が高そう…その気持ち、とってもよくわかります。

そんな方のために開かれる「百千鳥茶会」。

遠慮や気おくれは不要です。それでもやっぱり敷居が高い。

そんなあなたに「初心の手引き」を伝授します。

### 一、お茶会は「一期一会」をたのしむもの。

いまの素のままの「あなた」が感じるお茶会を、まずはそのまま楽しんでみてください。

わからないことがあっても、大丈夫。気になることはどしどし質問してください。

### 一、手ぶらでどうぞ。

わたしたちのお茶会には、なにも持ってこなくて大丈夫です。

お菓子を取り分けるための「懐紙（かいし）」、お菓子を食べるための「菓子切り（楊枝）」はこちらで用意しています。特別なものは、なんにもありません。

### 一、お荷物はお預かりします。

お茶室にはいる前に、コートやお手荷物を受付でお預かりします。

お茶室に余計なものを持ち込まないのは、決して広くはないお茶室を快適にすごせるように、静かにお茶に集中できるように（荷物があるとどうしてもがさがさが音がしてしまうものです）、そして荷物で調度品を傷つけないように、といった理由からです。

貴重品やハンカチなど、どうしてもお茶室に持って入りたいものがあるときは

小さなポーチなんかにまとめておくとスマートです。

携帯電話は、マナーモードにするのを忘れなく。

(バイブも切ってサイレントモードにしてもらえると嬉しいです)

## 一、写真撮影はウェルカムです。

ふつうのお茶会ではなかなか写真を撮ったりできないものですが、私たちのお茶会では  
撮影ウェルカムです。

お点前の最中でも、バシバシ撮っていただいてもかまいません。

ただし、三脚やレフ板は他のお客様のお邪魔になるのでご遠慮ください。

また、他のお客様を撮影した写真をインターネット等で公開したい場合には、お手数ですが  
その方の許可をとってくださいね。

(写真に写りたくない、ネットに載せられたくないという方もいらっしゃるかもしれません)

## 一、正座しなくても大丈夫。

正座じゃなくて大丈夫！です。

リラックスしてお茶を楽しんでいただきたいので、どうぞ遠慮なく足をくずしてください。

あぐらだって大丈夫です。

膝の不調などでどうしても畳に座るのが難しいという方はご相談ください。

可能な限り対応させていただきます。

## 一、服装は、座りやすい恰好で。

正座しなくていいとはいえ、1時間近く畳の上に座ることになります。

下半身がゆったりした座りやすい服装をおすすめします。

ふわっとした長いスカートなんて、足をくずしやすくおすすめですよ。

ズボンの方もあまりびったりしていないズボンのほうが楽です。

どうしても正座をつらぬきたい！という方には、実は着物は足回りがゆったりしていて

正座しやすい、というのも茶道豆知識です。

(とはいえ、正座に慣れていないとやっぱり足はしびれます！無理はなさらないように)

## 一、裸足とジーンズだけ、ご遠慮ください。

お茶室では清浄な畳を大事にしています。

ごわごわしたジーンズや裸足は畳を傷める可能性がありますのでご遠慮ください。

## 一、ものを大事に扱うこと。

お茶会でひとつだけ気をつけていただきたいことは、ものを大事に扱うこと。

お茶室の中や、茶道の道具にはなにげなく見えて、古いものや壊れやすいもの、貴重なものがたくさんあります。

乱暴に扱ったり、高いところから落とすと簡単に壊れてしまいます。

お茶碗やお道具を傷つける可能性がありますので、指輪や長いネックレスはお茶室に入る前に外してもらえるとうれしいです。

また、道具に触れるときはやさしく、持ち上げるときはうっかり落とさないように、両手で持ち、あまり高々と持ち上げないようにすると安心です。

このあたりは「百千鳥茶会」の中でもご説明しますね。

以上です！

これ以外でわからないこと、心配なことがあればお気軽にコメントやメッセージでお尋ねくださいね。

それでは、みなさんにお茶室でお会いできることを楽しみにしています。

※この「初心の手引き」は NPO 百千鳥が開催するお茶会のために作成されたものです。

他の団体さんが主催するお茶会では、もう少し厳しいマナーを求められる場合もあるかもしれません。

お茶会のマナーが不安なときは、その主催団体に「初めて参加するんですが持っていくものや気を付けたほうがいいのかはありますか？」と問い合わせると安心です。